



研修会リターンズ — 動画で会いましょう — 開催報告

動画配信 9月1日～9月29日 申込46名

令和4年度 第1回 兵庫区医療介護関係者研修会

「家族の捉え方を学び、家族支援を考える」

講師：皆本 美喜 氏（家族看護専門看護師 兵庫県看護協会）



参加者アンケートから



- ・ちょっと支援したらそこから先は家族が自分たちで話し合いをすることができる力を持っていること（医師）
- ・家族の気持ちを理解しようとする行動だけでも、家族の心を癒す。（薬局 薬剤師）
- ・家族の1人が揺れると全体が揺れるというモービルの例えが、まさにその通りだと思い印象に残りました。色々な家族がいて家族の問題は複雑で、様々な側面から見る必要があるのだと感じました。（看護師）
- ・家族間のファシリテーション・話し合う前のオリエンテーションの大事さの実感（訪問系介護職）
- ・家族のサポートモデルがあり、分析して接していく。家族の気持ちの曖昧さや不確かさに耐える能力が支援者には必要であるという事。（看護師）



動画配信 10月1日～10月31日 申込73名

第11回 兵庫区在宅医療スキルアップセミナー

「多職種で支える摂食嚥下障害～訪問歯科医師から学ぼう編～」

講師：三浦 康寛 先生（兵庫区歯科医師会 なかたに歯科クリニック）

参加者アンケートから



- ・とろみについてときどき患者のご家族から聞かれることがあったのですが、よくわからず、付属のチラシをお渡しするのみでした。次回聞かれた時は説明しようかと思えます。（薬剤師）
- ・「噛めていることと噛んでいることが違う」が印象的でした。在宅の場合には食事中に訪問することがなく「噛んでいますよ」と在宅で本人が言われればそのように評価しがちだと思います。歯科医師の先生と連携してきちんと評価をしていただき機能を生かした咀嚼と嚥下ができるようにしていく必要があると思いました。（看護師）
- ・嚥下障害の方に対応することが多いですが、歯科との連携が難しいのでとても勉強になりました。（言語聴覚士）
- ・機能を把握したうえで、ご本人の希望を聞き、それを実現できるよう周りで情報共有しておくという内容が、すごく良いと思った。食事は楽しみの方がいい。その楽しみを続けていくためにどうしたらいいかとみんなで考えることが大事なのだと思います。（ケアマネジャー）

☑ 研修会リターンズには多くの方にお申込みいただき、ありがとうございました。

普段はなかなか研修会へのご参加が難しい方から、動画で研修会をご覧いただくことができ、大変うれしく思っております。またこのような機会にはぜひご参加ください。

そして、いつかお会いできることを楽しみにしております。 兵庫区医療介護サポートセンター 青山 藤本

令和4年12月8日開催 第12回兵庫区在宅医療スキルアップセミナー

「ブレずに答えられますか？ ～在宅診療—皮膚科編～」

講師 辻 正孝 先生（辻クリニック 院長）

場所：兵庫区医師会会議室 または オンライン



辻 正孝先生（辻クリニックホームページより）

辻先生は、皮膚科で在宅診療をされている数少ない先生です。日頃の疑問やお困りごと等、ぜひこの機会にお聞きください。

褥瘡のこと

爪切りのこと

湿疹って？

疥癬のこと

在宅診療のこと



申込QRコード

兵庫区医師会「アドバイザー養成講座」再開!!

11月10日(木) 15時から
NETURE STUDIO (ネイチャースタジオ) にて
兵庫区医師会アドバイザー養成講座が開催されました。
講師は、はまの医院の濱野先生です。



兵庫区医師会では、「人生会議」が地域の日常になることを目指して医療介護専門職を対象にしたアドバイザー養成講座を開催されています。現在まで多くの専門職の方が受講されており、「人生会議」の普及に努めておられます。



「人生会議」(ACP) とは

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し、話し合い、共有する取り組みのこと
(厚生労働省)

「人生会議」の主体

- ・考え、話し合い、実行するのは「本人」と「家族(大切な人)」
- ・医療関係者・介護関係者は、そのきっかけとなり理解を助け、価値観を共有すること



😊 ノートがそのツールになれば

想いを
「点」から
「線」にする

- ・日常の何気ない会話の中の「価値感」(想い)をどこかに残す(ノートに書き留める)
- ・いろいろな人に「想い」を語り、知っておいてもらう
→ 一人が聞いた価値観を関係者が共有する

「私らしく生きるためのノート」の役割

- ① 「人生の最終段階」について考えるきっかけ
- ② 家族など大切な人と話し合う
- ③ 話し合った内容を書き留める
- ④ 地域で多(他)職種と想いを共有するツール
- ⑤ 様々な場面で「想い」を深めていくツール



😊 「人生会議」の目的は「思うように死ぬ」ことではなく「思うように生きる」こと 😊

27歳でがんによりこの世を去ったオーストラリア人女性のSNSへの最期のメッセージ

自分の人生がいつ終わりを迎えるのかはだれにもわからない。だからこそ、今生きている瞬間をかけがえのないものとして大切にしてほしい。

僕が死を考えるのは、死ぬためじゃない。生きるためなんだ。

アンドレ・マルロー
(フランスの作家)

講義では、なぜ人生会議が必要なのか、必要になった理由や、人生会議の実際の進め方、ルールや会話の方法などについても詳しく学ぶことができました。受講後には講義資料のUSBをいただけます。何度も見返したり、地域で人生会議の話をする時に使うことができます😊
グループワークでは、講義を聞いて感じたことや人生会議の実践について日頃感じていること等、ファシリテーターの方々に引っ張ってもらい、和やかな雰囲気の中、自由に意見交換が行われました😊

アドバイザー養成講座のお問い合わせやノートの追加をご希望の際は、
「神戸市兵庫区医師会」までご連絡ください Tel : 078-577-1190



研修会開催予定

開催予定日時	場所	テーマ
R4. 12月8日 (木) 14時～15時30分	兵庫区医師会会議室 オンライン	第12回 兵庫区在宅医療スキルアップセミナー 講演「プレずに答えられますか？」 ～在宅診療 - 皮膚科編～ 講師 辻 正孝 先生 (辻クリニック 院長) 申込QRコード
R5. 1月26日 (木) 14時～15時30分	兵庫区医師会会議室 オンライン	第2回 兵庫区 魁! 在宅看取り塾 講演「独居高齢者の在宅看取り・多職種連携 (仮)」 講師 藤永 恵子 氏 (訪問看護ステーションめぐみ)

「兵庫区医療介護サポートセンターって何？」と思われる方々へ

医療介護専門職の皆さまからのお問い合わせ・ご相談を受け付けております。

先月いただいたご相談

「耳鼻科で往診していただける先生を教えてください」

→ 近隣の医療機関を3か所お伝えしました

→ 相談者が調整され往診の日程が決まりました 😊

お気軽にお電話ください。

☎ 078-575-5711



次号へ続きます

Hyogoku三択クイズ 三択王におれはなま!!



1. 辻クリニックのイメージキャラクターなおし君 (二代目) は？

A.



B.



C.



2. 三菱重工業神戸造船所内にある「和田岬砲台」を設計した人は？



A. 渋沢栄一



B. 勝海舟



C. 福沢諭吉



答え 1. B. なおし君 Aはスーパーマン Cはゴリラ

2. B. 勝海舟

和田岬砲台は、江戸末期に外国艦船の来航に伴い、沿岸を防備する必要に迫られ徳川幕府により1864年(元治元年)に建設されました。同型の砲台が川崎(湊川)・西宮・今津にも建設されましたが、湊川・今津の砲台は取り壊され、西宮の砲台も内部が焼失し、石郭のみとなり、和田岬砲台のみが当時の面影を残しています。

うん十年後の偉人



兵庫区医療介護サポートセンターは、医療、介護、福祉の関係者からの在宅医療に関する相談への対応や、各種の研修、市民の方への在宅医療・介護に関する普及啓発などの業務を行っております。医療・介護・福祉関係者の皆様、お気軽にご相談ください。

兵庫区医療介護サポートセンター コーディネーター：青山・藤本

受付時間：月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 電話：078-575-5711 FAX:078-575-5712

兵庫区医療介護サポートセンター：<https://kobe-iks.net/area/hyogo>

